
【協力配信】横浜古代史料を読む会 講演会のお知らせ

★お知らせ

横浜市歴史博物館で活動する「横浜古代史料を読む会」の主催による
講演会のお知らせです。

お問い合わせ・お申し込み先が博物館と異なりますのでご注意ください。

◆内 容

横浜古代史料を読む会 講演会

「『播磨国風土記』の神話からみる古代地域社会と倭王権」

講師：坂江 渉 氏（兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 研究コーディネーター）

今から約 1300 年前の和銅 6（713）年、朝廷は諸国に対し、(1)地名の文字を「好字」に変えること、
(2)特産物や自然植生の種類、(3)土地の肥沃度合い、(4)地名の由来話、(5)古老の伝承、という
5 項目の情報収集と、その報告を義務づけました。この命を受け、各国で作成された報告書を
一般に「風土記」や「古風土記」と呼んでいます。『播磨国風土記』は、現存する 5 つの
風土記の中のひとつで、もっとも古い写本資料が残っています。講演では『播磨国風土記』を
めぐる歴史学や国文学の最新の研究成果を紹介しつつ、地名起源説話に引用される神話にもとづき、
古代の地域社会のあり方や、倭王権の支配構造の特質を探ります。

主催：横浜古代史料を読む会

共催：横浜市歴史博物館

→

http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/koudou/see/event/eventlist/kyousai_event/kodaikouza1014/

◆日 時

10 月 14 日（土）

14:00～16:00

横浜市歴史博物館 講堂（募集人数 170 名、応募多数の場合は抽選）

資料代：500 円（当日受付にて）

◆講師紹介

坂江 渉 氏

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・研究コーディネーター

大阪府生まれ、滋賀県育ち。神戸大学大学院単位取得退学。

博士（文学）。日本古代史専攻。神戸大学特命准教授などを経て現職。

最近『播磨国風土記』や『古事記』『日本書紀』の神話・伝承を素材にして、地域生活史の復元や、倭王権の地域編成論にアプローチ。

著書に、単著『日本古代国家の農民規範と地域社会』、

共著『風土記からみた古代の播磨』などがある。

◆申 込

締 切：9月30日（土）必着

応募方法：

往復はがき（1枚につき1名）に

(1)講座名

(2)郵便番号・住所

(3)氏名（ふりがな）

(4)電話番号

を明記し、下記宛先まで。

224-0021 横浜市都筑区北山田6-3-6 長田方 横浜古代史料を読む会 事務局

お問合せ（TEL/FAX）：045-594-0187（横浜古代史料を読む会事務局）

◆発行

横浜市歴史博物館／横浜開港資料館／横浜都市発展記念館／横浜ユーラシア文化館／埋蔵文化財センター／横浜市三殿台考古館／横浜市八聖殿郷土資料館／横浜市史資料室

* 当メールの送信アドレスは送信専用ですので、返信なさらないようにお願いいたします。

* 催しに関するお問い合わせは各施設まで。

* 本メールにお心当たりがない場合には、第三者による誤登録、不正登録等の可能性があります。

お手数ですが、下記お問い合わせまでご連絡頂けますようお願い申し上げます。

* メール配信についてのお問い合わせは横浜市ふるさと歴史財団（TEL045-912-7771）まで。

* 配信停止はこちらから

→ http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/taisyou/about_museum/mailmagazine/magazine_stop/